

外国の姉妹都市の友だちとの交流で世界に関心をもち視野を広げています

千歳の姉妹都市であるアメリカ合衆国アンカレジ市。子どもたちは、アンカレジ市の子どもたちと交流することで、生きた英語に触れ外国を理解しはじめています。

★千歳小学校とサンドレイク小学校の姉妹校交流

千歳小学校は、平成3年にアンカレジ市サンドレイク小学校と姉妹校として提携しました。平成6年にはサンドレイク小学校の訪問団が初めて千歳に来訪し、平成9年には千歳小学校の訪問団がサンドレイク小学校を訪問し、交流を深めました。

子どもたちは、ホームステイなどを通して英語に触れ、また、日本とは異なる生活習慣や文化に接することで外国を身近に感じるようになっていきます。

★千歳の中学生とミアーズ中学校生徒の交流

平成21年に姉妹都市提携40周年を記念して千歳の訪問団がアンカレジ市を訪問しまし



▶千歳小学校とサンドレイク小学校の交流。写真は今年1月にサンドレイク小学校を訪問したときのようすです。子どもたちにとって外国に関心をもちつきかけられています。



▶千歳の中学生とミアーズ中学校生徒の交流。写真は今年1月に千歳の中学生がミアーズ中学校を訪問したときのようすです。外国でのさまざまな体験で視野が広がります。



↑毎年開催する英語暗唱コンテスト。中学1年の部から高校3年の部、一般の部に分かれて各々課題文を暗唱します。暗唱を通して英語に親しみ、外国の生活や習慣を学びます。

た。このとき、アンカレジ市から中学生どうしの交流の提案があり、千歳の中学生とアンカレジ市ミアーズ中学校の生徒の交流が始まりました。

昨年3月に、ミアーズ中学校の訪問団が初めて千歳に来訪し、今年1月には、千歳市内の中学校5校から9人の中学生がミアーズ中学校を訪問しています。

生徒たちは、学校体験やホームステイなどを通して異なる文化に触れるとともに友情を育みました。今後の交流で、国際的な幅広い視野を身につけることが期待されます。

『英語暗唱コンテスト』は英語に親しみ世界を知る機会になっています

市と千歳ユネスコ協会は、一番身近な外国語の英語の暗唱を通して、国際理解と国際感覚を養い国際性豊かな人材を育成することを目的に、毎年『英語暗唱コンテスト』を開催しています。

参加者は、事前に出題される英文を暗記し、身振り手振りを交えて自分なりの表現で暗唱します。

このコンテストは、英語に親しみながら、千歳や世界のさまざまな国の自然、文化などについて学ぶため、世界を知り理解する機会になっています。